

評議委員会便り

平成 29 年度 愛知学院大学薬学会 総会 議事録

1. 開催日時 : 平成 29 年 5 月 19 日 (金) 17 時 30 分～18 時 10 分
2. 開催場所 : 薬学部棟 2 階 203 大講義室
3. 議長: 脇屋義文 教授
4. 出席 35 名、委任状 15 枚、計 50 名 (構成員 62 名、欠席 12 名)
5. 付議事項

第 1 号議案 平成 28 年度 事業報告の件 (下記参照)

第 2 号議案 平成 28 年度 決算報告の件 (下記参照)

第 3 号議案 平成 29 年度 事業計画の件 (下記参照)

第 4 号議案 平成 29 年度 予算案の件 (下記参照)

第 5 号議案 平成 29 年度薬学会役員について (下記参照)

第 6 号議案 その他

平成 29 年度薬学会奨励賞の表彰

議案

1 号議案. 平成 28 年度 事業報告

1) 会誌発行 第 9 巻 1,200 部 (平成 29 年 2 月 10 日発行)

2) 総会開催 平成 28 年度 5 月 27 日 (金)

3) 講演会

日時: 平成 28 年 6 月 22 日 (水)

講師: 三島 敏教授 (中部大学応用生物学部)

演題: 「人生の選択」～薬学出身者の門戸～

4) 会員への援助

①国際交流委員会・韓国研修援助 準会員 11 名に 3 万円支給。

学年	学籍番号	講座	氏名
3	14A048		加藤 優希
3	14A053		神谷 侑未
3	14A116		原川 奈美
3	14A142		村上 茉奈美
4	13A080		竹澤 秋穂

4	13A136		三宅 智美
5	12A029	微生物学	梅谷 明佳里
5	12A082	生体有機化学	高田 ゆうき
5	12A124	薬品分析学	林 あゆみ
5	12A155	微生物学	宮本 花純
5	11A131	薬用資源学	平野 友香

② 準会員向け学会発表援助

微生物学研究室 久綱 僚 (D2) 39130 円

薬化学研究室 山田瑞希 (D2) 50000 円

薬物治療学講座 岩田実紗 (6年生) 20140 円

薬用資源学研究室 王 蔚 (D2) 50000 円

③ 白衣の配布

4年生および新任教員に配布。147名分作成

④ 学会開催援助

衛生薬学講座「第43回日本毒性学会学術年会」、参加者1,500名以上、30万円援助

微生物学講座「第28回微生物シンポジウム」参加者52名、15万円援助

⑤ 愛知学院大学薬学会 卒業研究発表会優秀賞

36名に図書券2,000円分と賞状を贈呈。

2号議案. 平成28年度決算報告

平成28年度収入並びに支出について報告があり、承認された。

収入の部

項目	金額
前年度繰越金	7,538,219
学生入会金・会費(春・秋)	2,038,000
教員入会金・会費	143,000
広告費(薬学会誌)	440,000
著作物複写利用料分配分	14,730
利息	65
計	10,174,014
今年度計	2,635,795

支出の部

項目	金額
薬学会誌(1200部)	1,250,640
白衣(147名分)	496,822
講演会謝金(三島 敏先生)	46,664
学生学会発表補助(4名)	159,270
学生韓国研修補助(11名)	330,000
学会等開催援助	450,000
卒業研究発表会優秀賞	86,936
郵送・発送代	17,934
振込手数料	2,808
次年度繰越金	7,332,940
計	10,174,014
今年度計	2,841,074

3号議案. 平成29年度 事業報告

以下の平成29年年度事業計画について報告があり、承認された。

平成29年度 事業計画

1) 会誌発行 第10巻 (総説、一般論文、業績リスト、その他)

- ・印刷冊数 200部 (オンラインジャーナルも発行)
正会員 (教員) および東海地区薬系大学には冊子体を配布し、準会員 (学生) にはオンラインジャーナルにて配布。
- ・原稿締め切り 8月末とし、12月中に発行を予定する。
- ・印刷会社 未定

掲載項目

- ・巻頭言: 安池修之 大学院薬学研究科長
- ・総説: 第10巻 大井義明 准教授 (応用薬理学)
第11巻 鬼頭敏幸 教授 (疾患病態学)
- ・一般論文の募集 (一般総説、一般論文、調査研究報告など)
- ・学会等開催助成報告 (会員が開催する援助を受けた学会)
- ・学会報告 (学会発表援助を受けた学生)
- ・平成28年度FDワークショップ報告
- ・医療生命薬学研究所報告
- ・卒業研究発表会優秀賞リスト
- ・講座紹介、業績リスト
- ・6年生 卒業論文課題一覧
- ・その他 (評議委員会便り、投稿規程、薬学会会則、名誉会員リスト、広告など)

2) 講演会開催

村木雄一先生 (京都薬科大学教授) に依頼済み
時期や講演タイトルは未定

3) 学生会発表援助

1人、5万円まで援助。(宿泊費は1万円までに増額)

4) 国際交流委員会、韓国研修援助

1人、5万円を上限に半額を援助。(3万円から増額)

5) 学会開催援助

製剤学講座「第34回シクロデキストリンシンポジウム」
15万円または30万円を援助

6) 薬学会奨励賞

論文を発表した大学院生1名に5万円を援助

7) 卒業研究発表会優秀賞

一人、2,000 円の図書券を贈呈。(対象人数によって増額を検討)

現在の選考方法では、内容よりもプレゼンテーションの良し悪しで評価が決まる、あるいは発表内容を反映していないといった意見が多くあったことから、優秀賞の選考方法を変更することとなった。

(選考方法)

各講座教員あたり 2 名の学生を推薦する (推薦票: 講座教員 3 名の場合は最大 6 名の学生を推薦できる) (非公開)。また、発表会で評価者は 2 名推薦する (評価者票)。推薦票と評価者票を合わせて 2 票以上を獲得した学生を卒業研究発表会優秀賞として表彰する。

8) 白衣の支給

4 年生および新任教員に配布

9) その他

薬学部指定の課外活動、ボランティア等における交通費等の支給に関しても、会員への援助から支給できることが確認された。ただし、支給に関しては、学会誌への活動レポートを提出する必要があることも確認された。

卒業研究発表会優秀賞の賞与額を増額すべきという意見があったので、今後検討していくこととなった。

会誌について: 現在も図書館サイトからダウンロードできることから、会誌のオンラインに関しては、慎重に検討することが確認された。

4 号議案. 平成 29 年度 予算案

平成 29 年度予算案について報告があり、承認された。

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	7,332,940	薬学会誌印刷費(200部)	550,000
学生入会金・会費(春・秋)	2,038,000	学生白衣	500,000
教員入会金・会費	143,000	講演会費	50,000
広告費等	400,000	学生学会発表補助	160,000
著作物複写利用料分配分	14,000	学会等開催援助	300,000
利息	65	学生韓国研修補助	200,000
計	9,928,005	卒業研究発表会優秀賞	90,000
来年度計	2,595,065	奨励賞	50,000
		郵送・発送代	20,000
		雑費	20,000
		次年度繰越金	7,988,005
		計	9,928,005
		来年度計	1,940,000

5号議案. 平成29年度薬学会役員について

以下の体制で運営することが承認された。

会長：井上 誠

副会長：河村好章

監事：樋 彰、田中基裕

庶務幹事：大井義明（編集）

庶務幹事：平居貴生（書記、広報）

幹事（会計）：上井優一

幹事（事業）：小川法子

6号議案. その他

なし

平成29年度薬学会奨励賞の表彰

薬化学研究室 山田瑞希（D2）

対象論文：Copper-catalyzed [3+2] cycloaddition of (phenylethynyl)-di-p-tolylstibane with organic azides.

平成 29 年度 第 1 回 愛知学院大学薬学会評議員会 議事録

日時 : 平成 29 年 4 月 12 日 (水) 14 時 10 分～15 時 35 分
場所 : 大会議室
出席者 : 井上 誠、河村 好章、大井 義明、平居 貴生、小川 法子
欠席者 : 上井 優一

議題

1. 平成 29 年度役割分担

以下の体制で運営することを確認した。

会長 : 井上 誠

副会長 : 河村 好章

監事 : 樋 彰、田中 基裕

庶務幹事 (編集) : 大井 義明

庶務幹事 (書記、広報) : 平居 貴生

庶務幹事 (事業) : 上井 優一

庶務幹事 (会計) : 小川 法子

2. 平成 28 年度事業報告

1) 会誌発行 第 9 巻 1,200 部印刷した。

2) 総会開催 平成 28 年度 5 月 27 日 (金) に開催した。

3) 講演会 平成 28 年 6 月 22 日 (水)

三島 敏先生 (中部大学応用生物学部・教授)

による講演を行った。

4) 会員への援助

以下の項目①-⑤に関して、会員に援助を行った。

①国際交流委員会・韓国研修援助 準会員 11 名に 3 万円支給。

学年	学籍番号	講座	氏名
3	14A048		加藤 優希
3	14A053		神谷 侑未
3	14A116		原川 奈美
3	14A142		村上 茉奈美
4	13A080		竹澤 秋穂
4	13A136		三宅 智美
5	12A029	微生物学	梅谷 明佳里

5	12A082	生体有機化学	高田 ゆうき
5	12A124	薬品分析学	林 あゆみ
5	12A155	微生物学	宮本 花純
5	11A131	薬用資源学	平野 友香

② 準会員向け学会発表援助

微生物学研究室 久綱 僚 (D2) 39130 円

薬化学研究室 山田瑞希 (D2) 50000 円

薬物治療学講座 岩田実紗 (6年生) 20140 円

薬用資源学研究室 王 蔚 (D2) 50000 円

③ 白衣の配布

4年生および新任教員に配布した。147名分作成。

④ 学会開催援助

衛生薬学講座「第43回日本毒性学会学術年会」参加者1,500名以上、30万円援助

微生物学講座「第28回微生物シンポジウム」参加者52名、15万円援助

⑤ 愛知学院大学薬学会 卒業研究発表会優秀賞

36名に図書券2,000円分と賞状を贈呈。

3. 平成28年度決算報告 (別紙)

収入並びに支出について報告があった。収入においては昨年度と同様であったが、支出の部では韓国研修、学会発表援助、学会開催援助、卒業研究発表会優秀賞の図書券費が増額となった。その結果、次年度への繰越金が20万円ほど減額した。(総会議事録を参照)

4. 平成29年度事業計画 (案)

1) 会誌発行 第10巻 (総説、一般論文、業績リスト、その他)

- ・印刷冊数 1,200部
- ・原稿締め切り 8月末とし、12月中に発行を予定することとなった。
- ・印刷会社 仙台共同印刷とすることを確認した。

掲載項目

- ・巻頭言 : 安池修之 大学院薬学研究科長に依頼することを確認した。
- ・総説 : 第10巻 大井義明准教授 (応用薬理学)
第11巻 鬼頭敏幸教授 (疾患病態学講座) に依頼することを確認した。
- ・一般論文の募集 (一般総説、一般論文、調査研究報告、症例研究報告など) : 例年通りとした。
- ・学会・研究会報告 : 例年通りとした。
- ・学生への学会援助に伴う報告書 : 例年通りとした。
- ・平成28年度FDワークショップ報告 : FDワークショップの報告書を掲載する。(古野先生へ

依頼)

- ・医療生命薬学研究所報告書：3月に開催したシンポジウムについて報告書を依頼することとなった。(山本先生へ依頼)
- ・講座紹介・業績リスト：例年通りとした。
- ・大学院薬学研究科 二期生 博士論文要旨：例年通りとした。
- ・薬学部医療薬学専攻 八期生 卒業論文課題一覧：例年通りとした。
- ・評議委員会便り：例年通りとした。
- ・投稿規程：例年通りとした。
- ・薬学会会則：例年通りとした。
- ・広告掲載：例年通りとした。

2) 講演会開催

- ・村木優一先生(京都薬科大学教授)をお願いすることとした。時期と内容はこれから検討することとした。

3) 学生会発表援助

1人、5万円まで援助とすることを確認した。

また、準会員の学生会発表等に要する旅費援助における宿泊補助費を1万円までにすることとなった。

4) 国際交流委員会、韓国研修援助

韓国研修援助に関しては、総額を50万円とし、1人あたりの援助額については、5万円を上限に研修費用(交通費・宿泊費)の半額補助へ引き上げることとなった。

5) 学会開催援助

第34回シクロデキストリンシンポジウム(会期：平成29年8月31日(木)から平成29年9月1日(金))に15万円または30万円を援助することとなった。

6) 薬学会奨励賞

薬化学研究室山田瑞希(D2)に対して、薬学会奨励賞を授与することを決定した。

7) 卒業研究発表会優秀賞

受賞者一人あたり2千円の図書券を贈呈することを確認した。

また、現在の選考方法では、内容よりもプレゼンテーションの良し悪しで評価が決まる、あるいは発表内容を反映していないといった意見が多くあったことから、優秀賞の選考方法を変更することとなった。

(選考方法)

各講座教員あたり2名の学生を推薦する(推薦票：講座教員3名の場合は最大6名の学生を推薦できる)(非公開)。また、発表会で評価者は2名推薦する(評価者票)。

推薦票と評価者票を合わせて2票以上を獲得した学生を卒業研究発表会優秀賞として表彰する。

8) 白衣の支給

4年生および新任教員に配布することになった。

6. 総会開催（参加者に会誌を配布する）

日時：5月19日（金）17時30分～

場所：203教室

議題：第1回評議員会議内容、薬学会奨励賞の表彰

議長：協屋先生にお願いすることとした。

上記のように行うことを確認した。

7. 会誌のオンライン化について

薬科大学送付用および教員配布用（200部）を除き、学生用はオンラインジャーナル化の方針とし、総会に諮ることになった。来年度予算案については、今後検討することとなった。

8. 薬学会誌への寄付講座の紹介の掲載について

薬学会の会則（目的）を修正するか、総会で必要であると認めていただかない限り、難しいのではないかと、ということになった。来年度以降に、活動報告書を掲載するのが良いのではないかと、ということになった。

9. その他

海外研修の援助に関しては、一人一回とすることが確認された。

10. 名誉会員を含む会員に対する慶弔費の支出を、薬学会会則の第二章、第4条の3「その他、本会の目的達成のために必要な事項」に含めてもよいかを総会で諮ることになった。

愛知学院大学薬学会 学会等開催助成規程

[趣旨]

第一条 本事業は、薬学に関する研究・教育の振興を図るため、会員が開催する学会・研究会（以下「学会等」という）を助成することを目的とする。ただし、学内の会議・研究会及び学生が主体となるものは「学会等」から除く。

[名称]

第二条 助成の名称は、愛知学院大学薬学会 学会等開催助成とする。

[対象]

第三条 助成の対象は、学外参加人数が 50 人以上の学会等とする。

[助成対象となる経費]

第三条 助成対象となる経費は、謝金、旅費、会場費、人件費、会議費、消耗品費、用品費、印刷製本費、通信運搬費とする（旅費、人件費は愛知学院大学の規程に準じる）。

[申込と選考]

第四条 学会等を開催する正会員は、前年度末までに当薬学会への申請額を記入した申込書を提出する。その際、開催の資料を添付する。評議員会は、年度始めに、申込書を審査し、助成の可否を決定する。助成額は学会の規模内容を考慮し、1 件当たり 30 万円以内とする。

学外参加人数	助成額(千円)
50～199	150
200～	300

[開催後の報告書提出]

第五条 当該学会等を開催した正会員は、報告書を、会議終了後 3 カ月以内に提出する。報告書は、次巻愛知学院大学薬学会誌に掲載される。また、会計報告書、領収書を別途提出すること。

[その他]

第六条 当該学会等で印刷物を発行する場合は、『愛知学院大学薬学会 学会等開催助成による』旨を書き添える。

第七条 この規程の改正は評議員会の議を経て総会の承認を必要とする。

附則 この規程は平成 28 年 6 月 1 日から施行する。

愛知学院大学薬学会 奨励賞規程

[趣旨]

第一条 この規定は、薬学の発展に寄与した優れた論文を発表した準会員を表彰し、薬学研究者の育成を図るためのものである。

[名称]

第二条 表彰の名称は、愛知学院大学薬学会奨励賞とする。

[対象]

第三条 次の各項に準じた優秀な論文を対象とする。

- 1) 薬学の発展に寄与するものであること。
- 2) 研究の目的、方法または結果に新規性があり、かつ有用であること。
- 3) 研究の考察が論理的であること。
- 4) 主に愛知学院大学薬学部でなされた研究であること。
- 5) 前年度に掲載された英語原著論文であること。

[資格]

第四条 授賞対象は、次の各項に該当する者とする。

- 1) 愛知学院大学薬学会の準会員であること。
- 2) 過去に本賞を受けたことがないこと。
- 3) 対象論文の第一著者であること。
- 4) 次巻の愛知学院大学薬学会誌に、総説を掲載すること。総説は、著者の業績のみならず広く文献を渉猟しそのテーマの概要が読者に理解できるようにする。

[選考および表彰]

第五条 正会員より推薦を受けた候補論文から評議員会の議を経て決定される。

第六条 愛知学院大学薬学会は、受賞者を表彰する。

- 1) 愛知学院大学薬学会総会で行う。
- 2) 受賞者には賞状および副賞を授与する。

第七条 前条の表彰を行ったときは、受賞者の氏名、論文を愛知学院大学薬学会誌に公表する。

[その他]

第八条 受賞候補者の選考方法は別に定める。

第九条 この規程の改正は評議員会の議を経て総会の承認を必要とする。

附則 この規程は平成 28 年 6 月 1 日から施行する。

愛知学院大学薬学会奨励賞選考方法

[趣旨]

1. 愛知学院大学薬学部奨励賞の選考は、規程に定める以外は本方法による。

[選考]

2. 受賞候補論文の選考は、次の手順を経て行われる。
 - 1) 正会員である指導教員より推薦理由を付して受賞候補論文を評議員に報告する。
 - 2) 推薦を受けた候補論文の中から評議員会の議を経て受賞候補論文を決定する。
 - 3) 編集幹事が受賞候補論文を総会に報告する。

[件数]

3. 受賞候補論文は、一年当たり若干数とする。ただし一人の準会員が二件以上の受賞対象とはならない。

[副賞]

4. 副賞は、賞金五万円とする。

[その他]

5. 評議員会で受賞候補者の決定後、編集幹事は本人の承諾を得ること。
6. 選考方法の改廃は総会の承認を必要とする。

附則 この方法は平成 28 年 6 月 1 日から施行する。

愛知学院大学薬学会 卒業研究発表会優秀賞 規程

[趣旨]

第一条 この規定は、愛知学院大学薬学部の卒業研究発表会で優秀な発表を行った学部学生を表彰し、薬学研究者及び薬剤師研究者の育成を図るためのものである。

[名称]

第二条 表彰の名称は、愛知学院大学薬学会 卒業研究発表会優秀賞とする。

[対象]

第三条 次の各項に準じた卒業研究発表をした学部学生を対象とする。

- 1) 基礎的な科学力を有すること。
- 2) 研究を遂行する意欲を有すること。
- 3) 研究を遂行する問題発見・解決能力を有すること。
- 4) プレゼンテーションが優れていること。

[資格]

第四条 授賞対象は、愛知学院大学薬学会の準会員とする。

[選考および表彰]

第五条 教員より推薦を受けた候補論文から評議員会の議を経て決定される。

第六条 愛知学院大学薬学会は、受賞者を表彰する。受賞者には賞状および副賞を授与する。

[その他]

第七条 受賞候補者の選考方法は別に定める。

第八条 この規程の改正は評議員会の議を経て総会の承認を必要とする。

附則 この規程は平成 28 年 6 月 1 日から施行する。

愛知学院大学薬学会 卒業研究発表会優秀賞選考方法

[趣旨]

1 愛知学院大学薬学会 卒業研究発表会優秀賞の選考は、規程に定める以外は本方法による。

[選考]

2 優秀賞の選考は、次の手順を経て行われる。

1) 選考は、卒業論文の評価基準に基づいて行う。

2) 各講座は、発表会終了後速やかに、優秀賞候補者を講座教員数選抜し、評議員に推薦する。

3) 評議員会の議を経て、優秀賞受賞者が決定される。

[副賞]

3 二千円相当の図書券等とする。

[その他]

4 選考基準の改廃は総会の承認を必要とする。

附則 この基準は平成 28 年 6 月 1 日から施行する。

準会員の学会発表等に要する旅費援助に関する規定

愛知学院大学薬学会準会員が筆頭発表者として研究の成果発表を行うときの出張に要する経費を旅費とする。

(1) 旅費支給対象

旅費の支給は、国内で開催される学会等で筆頭発表者として研究成果の発表を行う愛知学院大学薬学会準会員を対象とする。ただし、会計年度を通じて5万円を限度とし、支給回数に制限をもうけない。

(2) 旅費支給額

支給する旅費は、交通費、参加費、宿泊補助費（1泊1万円まで）とする。交通費の算出は科学研究費補助金の規定に準ずる。

(3) 手続

- 1) 旅費の受給希望者は、所定の用紙（旅費申請書（AGUP様式1））に必要事項を記入し、講座主任教授を通じて愛知学院大学薬学会庶務担当幹事に提出する。
- 2) 出張後は、発表した学会等の資料（コピー）と出張報告書（A4、様式任意）を速やかに愛知学院大学薬学会会計に提出する。

(4) 報告

旅費の支給を受けて発表した内容は、愛知学院大学薬学会誌上で報告することとする。

附記

本規定は平成27年5月1日より施行する。

本規定は平成29年5月19日より施行する。

準会員の教育活動ならびに研修活動等に要する旅費援助に関する規定

(1) 旅費支給対象

旅費は、愛知学院大学薬学会評議委員会で許可を受けた教育活動ならびに研修活動等に参加する学生へ援助として支給する。対象は愛知学院大学薬学会準会員（学部学生、大学院生）とする。また、会計年度を通じて3万円を限度とし、支給回数に制限はもうけない。

(2) 旅費支給額

支給する旅費は交通費及び参加費とし、その算出は科学研究費補助金の規定に準ずる。

(3) 手続

- 1) 旅費の受給希望者は、所定の用紙（旅費申請書（AGUP 様式1））に必要事項を記入し、講座主任教授、学年主任等を通じて愛知学院大学薬学会庶務担当幹事に提出する。
- 2) 出張後は、教育活動または研修活動の資料（コピー）と出張報告書（A4、様式任意）を速やかに愛知学院大学薬学会会計に提出する。

(4) 報告

旅費の支給を受けて行った教育・研修活動の内容は、愛知学院大学薬学会誌上で報告することとする。

附記

本規定は平成22年10月1日より施行する。

本規定は平成25年5月17日より施行する。

本規定は平成27年5月1日より施行する。